日程表

■ 第1日目　9/20(土)

	第１会場 （大村記念ホール） 現地・ライブ・オンデマンド	第２会場 （薬学部1号館 1501講義室） 現地・ライブ・オンデマンド	第３会場 （薬学部1号館 1202講義室） 現地・ライブ・オンデマンド	
9:00				9:00
	9:40～　開会挨拶			
10:00	9:50～10:40 **大会長講演** AIの進展と産業保健の将来			10:00
11:00	10:50～12:50 **メインシンポジウム** デジタルヘルスが産業保健にもたらす パラダイムシフトと法 **協賛：社会保険労務士法人あかつき**	10:50～12:50 **シンポジウム１** 高年齢労働者の安全・健康確保と法 **協賛：一般財団法人 日本予防医学協会**	10:50～12:20 **シンポジウム２** 〈学問の最前線〉 ドイツのパワハラ論争が示唆するもの ～医療者と法律論者の対話～	11:00
12:00				12:00
13:00	13:00～13:50 **協賛セミナー１** **協賛：株式会社エムステージ**	13:00～13:30 **会員懇談会**		13:00
14:00	14:00～16:00 **シンポジウム３** 職場におけるデジタルヘルスへの 期待・課題と法 ～ウェアラブルデバイスの仮想事例から 考察する～	14:00～16:00 **連携学会シンポジウム１** **〈日本産業精神保健学会〉** 復職後の軽減勤務期間終了までに 通常勤務への移行が難しいケースを めぐって －法的視点および医学的視点からの検討－	14:00～16:00 **シンポジウム４** 生成AIは私たちの認知に どのようなインパクトを与えるか ～法政策への示唆を考える～	14:00
15:00				15:00
16:00	16:10～18:10 **模擬裁判** 双極性障害からの総合職正社員としての 復帰要求と一般職スタッフとしての 復帰提案、賃金減額可否	16:10～18:10 **連携学会シンポジウム２** **〈全国社会保険労務士会連合会〉** 働きやすさの新時代 社労士と 産業保健職の共創 －キャリア・トランジションを支える－	16:10～18:10 **シンポジウム５** 支援職（士業）がハラスメントにあったら どうする？ 支援職の支援体制の構築と課題 **協賛：ピースマインド株式会社**	16:00
17:00				17:00
18:00				18:00
	18:30～ **懇親会**（薬学部2号館 学生食堂）			

■ 第2日目　9/21(日)

第１会場 (大村記念ホール) 現地・ライブ・オンデマンド	第２会場 (薬学部1号館 1501講義室) 現地・ライブ・オンデマンド	第３会場 (薬学部1号館 1202講義室) 現地・ライブ・オンデマンド	第４会場 (薬学部1号館 1203講義室) 現地開催のみ
9:00～10:50 **事例検討** どうすればよかったのか？ －自殺完遂事例に見る手続的理性と労働者保護のあり方を考える－	9:40～11:40 **連携学会シンポジウム３** 〈日本産業ストレス学会〉 裁判所による産業ストレスの認定を検証する(5)	9:00～11:40 **シンポジウム６** 中小企業の産業保健の担い手としての産業保健看護職と法 ～国内外の産業保健看護職のあり方と課題～	9:30～10:50 **一般演題１**
11:00～11:50 **先達との対話(パーソナルヒストリー)** 私の証言 ～我が国における産業医制度改善の道筋～			11:10～12:25 **一般演題２**
12:00～12:50 **協賛セミナー２** 協賛:バイオコミュニケーションズ株式会社	12:10～14:10 **連携学会シンポジウム４** 〈JAOHL弁護士会・大阪弁護士会〉 医師と弁護士の視点で読み解く産業保健の事例分析		
13:00～15:00 **シンポジウム７** 職場における新型コロナワクチン接種と被害者救済 ※日本医師会認定産業医研修会 (専門2単位) ※現地開催のみ(配信無)			13:00～14:50 **一般演題３**
15:10～16:10 **教育講演** 労働行政の動向 ※日本医師会認定産業医研修会 (更新1単位)	14:20～16:20 **シンポジウム８** データ活用による健康経営推進と法的課題	15:20～17:20 **シンポジウム９** 医師の働き方改革を前向きな取り組みにさせていくためには ～現場から見えてくることを通じて～	15:00～16:50 **一般演題４**
16:30～18:00 **特別対談** 高尾メソッドを語る ～正当性・妥当性とその範囲～	16:30～18:00 **シンポジウム10** 改正安衛法、化学物質管理を自律的に取り組むには ～取り組み事例から考える自律的管理～ ※オンデマンド配信無		
18:10～18:40 **閉会挨拶**			

プログラム

大会長講演

AIの進展と産業保健の将来

日時・会場（開催方式）	9月20日（土） 9:50～10:40 ・ 第1会場（現地・ライブ・オンデマンド）
座　長	泉　　陽子　東北大学 東北メディカル・メガバンク機構
演　者	AIの発展が社会および働き方に与えるインパクト 山田　省三　中央大学 名誉教授、暁法律事務所、日本産業保健法学会、日本労働法学会

教育講演

日本医師会認定産業医研修会（更新1単位）

労働行政の動向

日時・会場（開催方式）	9月21日（日） 15:10～16:10 ・ 第1会場（現地・ライブ・オンデマンド）
座　長	山田　省三　中央大学 名誉教授
演　者	労働行政の動向 佐々木 孝治　厚生労働省労働基準局安全衛生部労働衛生課

メインシンポジウム

協賛：社会保険労務士法人 あかつき

デジタルヘルスが産業保健にもたらすパラダイムシフトと法

日時・会場（開催方式）	9月20日（土） 10:50～12:50 ・ 第1会場（現地・ライブ・オンデマンド）
座　長	山田　省三　中央大学 名誉教授
座長・演者	産業精神保健におけるデジタルメンタルヘルスの現状と課題 今村 幸太郎　東京大学 大学院医学系研究科 デジタルメンタルヘルス講座
演　者	産業保健×デジタル化社会：経営と現場をつなぐための再設計 山田　洋太　株式会社iCARE
	デジタルヘルスが産業保健にもたらすパラダイムシフトと法 ―産業医の立場から― 宋　　裕姫　株式会社オフィス宋／株式会社OHアナリティクス
	生成AI時代における安全衛生と法的対応：政策的・社会工学的観点から 三柴　丈典　近畿大学法学部、日本産業保健法学会

シンポジウム１　協賛：一般財団法人 日本予防医学協会

高年齢労働者の安全・健康確保と法

日時・会場（開催方式）	9月20日（土） 10:50～12:50・第2会場（現地・ライブ・オンデマンド）
座　長	鎌田　耕一　東洋大学 名誉教授
	黒澤　　一　東北大学大学院 医学系研究科
演　者	高年齢者の労働災害防止 ―一人ひとりの身体的・心理的要因、健康状態を踏まえる― 高木　元也　労働安全衛生総合研究所 新技術安全研究グループ
	小売業（小規模分散型事業場）における高年齢労働者の安全・健康管理の実際 河津 雄一郎　株式会社平和堂 健康サポートセンター／独立行政法人労働者健康安全機構 滋賀産業保健総合支援センター
	高年齢労働者の労働災害に関する裁判例の動向と改正労働安全衛生法の意義 佐々木 達也　名古屋学院大学法学部
	高年法・改正安衛法適用下における安全・健康確保に向けた人事労務体制 川口　敏哉　株式会社マンツーマンコンサルティング／マンツーマン人事制度研究所

シンポジウム２

〈学問の最前線〉ドイツのパワハラ論争が示唆するもの ～医療者と法律論者の対話～

日時・会場（開催方式）	9月20日（土） 10:50～12:20・第3会場（現地・ライブ・オンデマンド）
座長・演者	ドイツにおけるパワハラ論争と法的対処の限界 原　　俊之　青森中央学院大学 経営法学部
演　者	ドイツのモビング論争が示唆するもの ―産業医学・予防医学の視点から― 吉川　　徹　独立行政法人労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所 過労死等防止調査研究センター

シンポジウム３　広告協賛：株式会社アドバンテッジリスクマネジメント

職場におけるデジタルヘルスへの期待・課題と法 ～ウェアラブルデバイスの仮想事例から考察する～

日時・会場（開催方式）	9月20日（土） 14:00～16:00・第1会場（現地・ライブ・オンデマンド）
座長・演者	泉　　陽子　東北大学 東北メディカル・メガバンク機構
	労働法・産業保健法から考えるデジタルヘルス 菰口　高志　弁護士法人大江橋法律事務所
演　者	ウェアラブル・デバイスの健康増進への活用 川村　　孝　京都大学 名誉教授
	ウェアラブルデバイスの健康増進への活用と個人情報保護 黒田　佑輝　弁護士法人大江橋法律事務所
	デジタルヘルスの課題（産業医の実務的な立場から） 森本　英樹　森本産業医事務所

シンポジウム４

生成AIは私たちの認知にどのようなインパクトを与えるか ～法政策への示唆を考える～

日時・会場（開催方式）	9月20日（土） 14:00～16:00・第3会場（現地・ライブ・オンデマンド）
座長・演者	小島　健一　鳥飼総合法律事務所
	三宅　　琢　株式会社Studio Gift Hands
演　者	認知スキーマが生成する〈世界〉の諸相―― AI時代におけるメタ認知の重要性を探る 竹倉　史人　武蔵野大学

シンポジウム５　　協賛：ピースマインド株式会社

支援職（士業）がハラスメントにあったらどうする？ 支援職の支援体制の構築と課題

日時・会場（開催方式）	9月20日（土） 16:10～18:10・第3会場（現地・ライブ・オンデマンド）
座　長	井村　真己　追手門学院大学
座長・演者	産業医に対する不当な要請の実態と対応：独立性と倫理的葛藤に焦点をあてて 五十嵐　侑　産業医科大学産業医実務研修センター
演　者	産業保健看護職のハラスメントのヒヤリング結果 丸田　絵夢　産業保健オンラインコミュニティCOEDOH
	弁護士の立場から 室谷 光一郎　室谷総合法律事務所
	弁護士を支援する立場から 三浦 光太郎　Ami／London School of Economics and Political Science (MSc Human Resources and Organisations) 中村　洸太　Ami／東洋学園大学人間科学部

シンポジウム６

中小企業の産業保健の担い手としての産業保健看護職と法 ～国内外の産業保健看護職のあり方と課題～

日時・会場（開催方式）	9月21日（日） 9:00～11:40・第3会場（現地・ライブ・オンデマンド）
座　長	帆苅 なおみ　東京工科大学医療保健学部看護学科
座長・演者	産業保健看護職の労働安全衛生法上の位置付けと中小企業における現状の整理 鈴木　悠太　法律事務所トレック
演　者	国内における産業保健看護職をめぐる法的課題 西脇　　巧　ニシワキ法律事務所
	現場から見た産業保健看護職の活用とその効果 長谷川 佳代子　株式会社檜原ライフスタイルラボ
	諸外国での産業保健看護職の活用状況と法制度からみた、わが国の中小企業における産業保健活動推進への示唆 錦戸　典子　東海大学医学部看護学科、独立行政法人労働者健康安全機構
	産業保健チームでの実践と看護職の有効活用事例 今井　鉄平　OHサポート株式会社

シンポジウム7

日本医師会認定産業医研修会（専門2単位）

職場における新型コロナワクチン接種と被害者救済

日時・会場（開催方式）	9月21日（日） 13:00～15:00・第1会場（現地開催のみ）
座　長	増田　将史　産業医科大学（ストレス関連疾患予防センター）／株式会社Smart OHW
座長・演者	新型コロナワクチン接種の健康被害と労働法上の救済 米津　孝司　中央大学法科大学院
演　者	新型コロナワクチンと健康被害救済 磯部　哲　慶應義塾大学大学院法務研究科（法科大学院）
	産業医・産業看護職として次のパンデミックにどう備えるべきか 堀　愛　筑波大学医学医療系 国際社会医学研究室

シンポジウム8

データ活用による健康経営推進と法的課題

日時・会場（開催方式）	9月21日（日） 14:20～16:20・第2会場（現地・ライブ・オンデマンド）
座　長	井上　洋一　愛三西尾法律事務所
	小田上 公法　産業医科大学 産業生態科学研究所 産業保健経営学
演　者	データ利活用時の個人情報保護における実務的課題 海野　賀央　株式会社JERA HR統括部 労務部 健康経営推進ユニット
	治療と仕事の両立支援における健康情報共有の課題 ～社会保険労務士への相談事例を通して～ 近藤　明美　近藤社会保険労務士事務所
	データ利活用時の個人情報保護における実務的課題 ～産業医の観点から～ 永野　千景　産業医科大学 産業生態科学研究所 産業保健管理学
	健康情報をめぐる駆け引きに勝者はあるか？ 小島　健一　鳥飼総合法律事務所

シンポジウム9

医師の働き方改革を前向きな取り組みにさせていくためには ～現場から見えてくることを通じて～

日時・会場（開催方式）	9月21日（日） 15:20～17:20・第3会場（現地・ライブ・オンデマンド）
座　長	佐藤　文彦　Basical Health株式会社
	笹井　健司　笹井社会保険労務士事務所
演　者	医療現場からみた医師の働き方改革の現実と展望 堤　健　医療法人財団 愛慈会 相和病院
	医師の働き方改革の経緯と今後の課題 ―労働法学の視点から― 島田　陽一　早稲田大学 名誉教授
	長時間労働医師面接マッチングシステムを提供してきた結果見えてきたもの 佐藤　典久　株式会社日本産業医支援機構

シンポジウム10

改正安衛法、化学物質管理を自律的に取り組むには
～取り組み事例から考える自律的管理～

日時・会場（開催方式）	9月21日（日） 16:30～18:00 ・ 第2会場（現地・ライブ　※オンデマンド配信無）
座　長	香山 不二雄　自治医科大学 名誉教授
	石﨑 由希子　横浜国立大学大学院 国際社会科学研究院
演　者	自律的な化学物質管理を推進する事業場の課題感と解決アプローチ ～化学物質管理専門家の立場から～ 松井　正義　株式会社トトロエコンサルティング
	第３項健診等の法的・実務的課題をできるだけ言語化し、中小企業に落とし込むためには ―産業医の立場から― 真鍋　憲幸　三菱ケミカル株式会社人事本部
	リスクアセスメント対象物健康診断について ～健診機関の立場から、嘱託産業医の立場から～ 山口　宏茂　一般社団法人日本健康倶楽部和田山診療所

連携学会シンポジウム１〈日本産業精神保健学会〉

復職後の軽減勤務期間終了までに通常勤務への移行が難しいケースをめぐって
―法的視点および医学的視点からの検討―

日時・会場（開催方式）	9月20日（土） 14:00～16:00 ・ 第2会場（現地・ライブ・オンデマンド）
座　長	田中　克俊　北里大学大学院医療系研究科
	渡邊　　徹　弁護士法人淀屋橋・山上合同
演　者	江畠　健彦　石嵜・山中総合法律事務所
	吉村　靖司　神田東クリニック
	加藤　憲忠　富士電機（株）大崎地区健康管理センター

連携学会シンポジウム２〈全国社会保険労務士会連合会〉

働きやすさの新時代　社労士と産業保健職の共創 ―キャリア・トランジションを支える―

日時・会場（開催方式）	9月20日（土） 16:10～18:10 ・ 第2会場（現地・ライブ・オンデマンド）
座　長	森本　英樹　森本産業医事務所
座長・演者	予習的支援（将来を見越した備え）の共創 ―ハラスメント対応の現場から― 熊井　弘子　熊井HRサポート社会保険労務士事務所
演　者	キャリア・トランジションを支える多様な働き方に向けた社労士と産業保健職との共創を考える 成田　妙庫　成田事務所
	多様化する職場環境に対応する産業保健職と社労士の共創 ―産業保健職の立場から― 秋山　陽子　株式会社SUNNY産業医事務所
	妊娠・出産から考えるキャリア・トランジッション ―産業医の視点から見た支援と共創の可能性― 川島　恵美　株式会社Keep Health
	育児参画とキャリアトラック ―近年進む男性育休の視点から考える― 平野　翔大　株式会社明治
	退職と退職代行 小澤 亜季子　GK総合法律事務所
指定発言	石倉　正仁　全国社会保険労務士会連合会

連携学会シンポジウム３〈日本産業ストレス学会〉

裁判所による産業ストレスの認定を検証する(5)
国・熊本労基署長(住友林業)事件(福岡地判令6.7.5)

日時・会場(開催方式)	9月21日(日) 9:40～11:40 ・ 第2会場(現地・ライブ・オンデマンド)
座　長	大塚　泰正　筑波大学人間系
座長・演者	国・熊本労基署長(住友林業)事件・福岡地判令6.7.5の概要 佐々木 達也　名古屋学院大学法学部
演　者	医学的に精神障害の悪化が認められる場合の裁判所の業務起因性判断 ―本件における判断枠組みと判断方法の検討― 田中　建一　東洋大学健康スポーツ科学部
	本事案の精神障害発症時期と精神科診断等に関する検証 ～令和5年労災認定基準改正を踏まえて～ 黒木　宣夫　医療法人社団宣而会 勝田台メディカルクリニック
	予防的取り組みにおける個人と組織のストレス理解 ―産業保健職として何ができるのか― 馬ノ段 梨乃　株式会社島津製作所、京都府立医科大学

連携学会シンポジウム４〈JAOHL弁護士会・大阪弁護士会〉

医師と弁護士の視点で読み解く産業保健の事例分析

日時・会場(開催方式)	9月21日(日) 12:10～14:10 ・ 第2会場(現地・ライブ・オンデマンド)
座　長	大林 知華子　ちかメンタルクリニック・Actwith株式会社
	淀川　　亮　弁護士法人英知法律事務所
演　者	職種限定雇用における労災休職後の職場復帰と配置転換に関する課題 秋山　陽子　株式会社SUNNY産業医事務所
	使用者側弁護士の立場から 林　　和宏　協和綜合法律事務所
	労働者側弁護士の立場から 網本　知晃　堺筋共同法律事務所
	研究職・リモートワークの適応問題 神田橋 宏治　合同会社DB-SeeD

模擬裁判　　広告協賛：弁護士法人田中彰寿法律事務所

双極性障害からの総合職正社員としての復帰要求と一般職スタッフとしての復帰提案、賃金減額可否

日時・会場(開催方式)	9月20日(土) 16:10～18:10 ・ 第1会場(現地・ライブ・オンデマンド)
座　長	倉重 公太朗　KKM法律事務所
	水谷　明男　Office Le Chien 合同会社
統括コメンテーター	森口　次郎　一般財団法人京都工場保健会 産業医学研究所
演　者	小野山　静　旬報法律事務所
	柴岡　三智　独立行政法人労働者健康安全機構横浜労災病院
	飯島　　潤　多湖・岩田・田村法律事務所
	米山　裕子　米山産業医・労働衛生コンサルタント事務所

事例検討　広告協賛：一般財団法人 京都工場保健会

どうすればよかったのか？
―自殺完遂事例に見る手続的理性と労働者保護のあり方を考える―

日時・会場（開催方式）	9月21日（日）9:00～10:50・第1会場（現地・ライブ・オンデマンド）
座　長	堀内　　聡　弁護士法人淀屋橋・山上合同
	林　　幹浩　株式会社ビスメド
演　者	市橋　耕太　旬報法律事務所
	五十嵐　侑　産業医科大学産業医実務研修センター
	別城　尚人　鳩谷・別城・山浦法律事務所
	大林 知華子　ちかメンタルクリニック、Actwith株式会社

先達との対話（パーソナルヒストリー）

私の証言 ～我が国における産業医制度改善の道筋～

日時・会場（開催方式）	9月21日（日）11:00～11:50・第1会場（現地・ライブ・オンデマンド）
座　長	佐々木 規夫　日本うつ病センター
演　者	私の証言 ～我が国における産業医制度改善の道筋～ 大久保 利晃　産業医科大学 名誉教授・元学長、労働者放射線障害防止研究センター

特別対談

高尾メソッドを語る ～正当性・妥当性とその範囲～

日時・会場（開催方式）	9月21日（日）16:30～18:00・第1会場（現地・ライブ・オンデマンド）
座　長	前園　健司　前園綜合法律事務所
演　者	高尾　総司　岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 疫学・衛生学分野
	三柴　丈典　近畿大学 法学部

協賛セミナー１　協賛：株式会社エムステージ

使用者側弁護士の立場から考える、産業医と外部専門家の連携の重要性

日時・会場（開催方式）	9月20日（土）13:00～13:50・第1会場（現地・ライブ・オンデマンド）
座　長	浜口　伝博　一般社団法人 産業医アドバンスト研修会、産業医科大学
演　者	使用者側弁護士の立場から考える、産業医と外部専門家の連携の重要性 中川　洋子　榎本・藤本・安藤総合法律事務所

協賛セミナー２　協賛：バイオコミュニケーションズ株式会社

産業保健に関する法令・制度の課題を討論する

日時・会場（開催方式）	9月21日（日）12:00～12:50・第1会場（現地・ライブ・オンデマンド）
座　長	浜口　伝博　一般社団法人 産業医アドバンスト研修会、産業医科大学
パネリスト	林　　剛司　株式会社日立製作所 産業保健推進センタ、埼玉医科大学、産業医科大学
	横谷　俊孝　産業医科大学 産業生態科学研究所 産業保健管理学研究室

一般演題１

日時・会場（開催方式）	9月21日（日） 9:30～10:50 ・ 第4会場（現地開催のみ）
座　長	**泉　陽子**　東北大学 東北メディカル・メガバンク機構
演　者	(1) **労使紛争のエスカレーション予防に向けた「解釈的医療」活用の提案** **―事例性・疾病性モデルの限界を超える試み―** **渋谷 純輝**　合同会社ワンピック
	(2) **未然予防における社労士の役割** **川口 敏哉**　株式会社マンツーマンコンサルティング・マンツーマン人事制度研究所（社労士事務所）
	(3) **休復職等を巡る裁判外紛争解決手続等の検討** **田中 継貴**　弁護士法人田中彰寿法律事務所
	(4) **精神疾患を理由に休職した労働者の復職判断における他業務配置可能性についての検討** **清水　咲**　弁護士
	(5) **産業医が関係する裁判例の経年変化** ○ **竹口 英伸**　竹口産業医事務所、石井・竹口法律事務所 **清水 隆司**　日本メディメンタル研究所

一般演題２

日時・会場（開催方式）	9月21日（日） 11:10～12:25 ・ 第4会場（現地開催のみ）
座　長	**黒澤　一**　東北大学 環境・安全推進センター
演　者	(1) **産業保健と就業規則** **淀川　亮**　弁護士法人英知法律事務所
	(2) **生きた法という考え方に基づき制定する社内制度策定について** **野上 晶平**　弁護士法人TLEO虎ノ門法律経済事務所和歌山支店
	(3) **「健康は誰のもの？」という観点から労働者の健康管理に関する考察と提言** **中島 啓子**　ひまわり労務管理サポート事務所〔佐賀県社会保険労務士会〕／株式会社ひまわりSRオフィス
	(4) **労働安全衛生法第109条の可能性について** **山口 久雄**　石川県商工労働部

一般演題３

日時・会場（開催方式）	9月21日（日） 13:00～14:50 ・ 第4会場（現地開催のみ）
座　長	泉　陽子　東北大学 東北メディカル・メガバンク機構
演　者	(1) 社内制度化による、合理的配慮の形成支援と、配慮の合理化 ○ 須藤 千尋[1)]　須藤 優実[1)]　1）株式会社アラデア
	(2) 生物心理社会モデルアプローチに基づく治療と就労の両立の課題整理を目指したナラティブレビュー 後藤 真一　国際医療福祉大学
	(3) 「それはハラスメントか？」心理的安全性から読み解く職場のグレーゾーンと認識の多様性 江黒 照美　東京理科大学大学院経営学研究科技術経営専攻（MOT）
	(4) ハラスメントには該当しない管理職の言動による職場環境悪化への介入 舘野 聡子　株式会社イソシア
	(5) 背景に本人の特性等の存在が疑われる従業員の二次的な精神疾患の発病と対応策 ～シャープNECディスプレイソリューションズ事件以降の動向を踏まえて～ 鈴木 悠太　法律事務所トレック
	(6) 多死社会の法整備：関連法整理と、葬儀社・安置室のドライアイス由来CO2実測と基準案 ○ 武藤　剛[1)]　鈴木 規道[2)]　鍵　直樹[3)]　橋本 晴男[4)]　大森 由紀[1)]　弘田 量二[5)] 猪口　剛[6)]　横山 和仁[7)]　和田 耕治[8)]　小島 健一[9)] 1）北里大学　2）千葉大学予防医学センター　3）東京科学大学　4）橋本安全衛生コンサルタント合同会社 5）北里大学、日本予防医学会　6）千葉大学大学院法医学　7）国際医療福祉大学 8）国立健康危機管理研究機構　9）鳥飼法律事務所

一般演題４

日時・会場（開催方式）	9月21日（日） 15:00～16:50 ・ 第4会場（現地開催のみ）
座　長	黒澤　一　東北大学 環境・安全推進センター
演　者	(1) 産業保健法に関する生成AIの回答と弁護士法72条 西脇　巧　ニシワキ法律事務所
	(2) “判断するAI”に私たちは何を委ねるのか―― 産業保健におけるLLMによる意思決定のリスクと社会・心理学的考察 上床 輝久　京都教育大学 保健管理センター
	(3) せっかくやるストレスチェックだから、有意義なものにするためのAI活用の検討 ○ 溝口 茂樹　株式会社心陽・ai-X株式会社 石田 陽子　株式会社心陽・ai-X株式会社・北海道大学大学院保健科学研究院・久留米大学医学公衆衛生学講座
	(4) 従業員支援と健康情報 中島 勝久　一般企業
	(5) 【事例報告】多数事業場を持つ大企業における中央集権型産業保健体制の構築と検討 ○ 平野 翔大[1)]　井上 香奈子[1)]　藤本 まなみ[1)]　1）株式会社明治
	(6) 主治医と産業保健職の連携により、事例性と疾病性の四象限表に立ち返り分析する事の重要性 杉本 康一郎　株式会社IHI